

ベトナムでの製造——産業、立地、調達に関するガイド

ベトナムでの製造事業には、海外企業にとって、生産拠点の設立、既存工場からの調達、産業向け顧客への設備やサービスの提供など、いくつかの選択肢があります。適切なアプローチは、製品、求められる品質、顧客の所在地、およびサプライヤーを管理する能力によって異なります。本ガイドでは、B&Company の業界調査結果をまとめ、企業が主要な製造セクターを評価し、立地を比較し、市場参入を計画する一助となるよう作成しました。

同セクターの拡大は、強力な出発点となります。ベトナム国家統計局の推計によると、2025 年の製造業の付加価値額は 9.97%増加し、2019 年から 2025 年までの期間において最も高い年間成長率を記録しました¹。

企業がベトナムでの製造を検討する理由

ベトナムは、確立された輸出向け製造拠点と、国内の消費者や産業顧客にサービスを提供する機会を兼ね備えています。企業は現地生産を活用して、サプライチェーンの多様化、顧客に近い場所での製造、あるいは地域的な調達ネットワークの構築を行うことができます。これらの目標は、立地やサプライヤーに対する異なる要件につながります。

日本の製造業者はすでにこの産業基盤の一部を形成している。JETRO の 2025 年度調査によると、ベトナムで事業を展開する回答した日本企業の 51.1%が、今後 1～2 年の間に事業拡大を計画していた。この結果は、投資への関心が継続していることを示唆しているが、業種や地域によって大きな違いがある余地も残されている²。

ベトナムにおける日本企業の事業展開の動向

単位：％。括弧内の数字は回答者数を示す

区分	拡大	現状維持	事業規模の縮小／第三国への移転または撤退
ベトナム全体 (905)	57	38	5
製造業合計 (409)	51	43	6
食品 (31)	87	10	3
化学・医薬品 (26)	69	31	0
電気・電子機器 (25)	60	40	0
精密機器および医療機器 (17)	59	35	6
繊維・アパレル (28)	57	32	11
輸送用機器 (6)	50	33	17
電気・電子部品 (38)	50	47	3

¹ <https://www.nso.gov.vn/en/data-and-statistics/2026/01/press-release-social-economic-situation-in-the-fourth-quarter-and-2025/>

² <https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2026/21fcf2689cf256b0.html>

鉄、非鉄金属および金属製品 (74)	49	47	4
一般機械 (27)	44	44	11
紙・木材製品・印刷 (20)	40	55	5
プラスチック製品 (33)	39	55	6
ゴム、セラミックス、石、粘土製品 (20)	35	60	5
輸送用機器の部品 (36)	31	53	17
その他の製造業 (28)	50	39	11
ベトナム北部 (205)	39	52	9
ベトナム中部 (24)	42	58	0
ベトナム南部 (180)	66	30	4

出典：JETRO

部品メーカーにとっては、組立メーカーの調達ネットワークへのアクセスが決定的な要素となる可能性があります。食品メーカーは、原材料、流通、消費者需要をより重視するでしょう。設備サプライヤーは、誰が購買決定権を握っているか、また現地でのメンテナンスを経済的に提供できるかどうかを把握する必要があります。B&Company によるベトナムの製造業分野への日本企業の投資に関する分析は、これらのビジネスモデルや業界のつながりについて、さらなる背景情報を提供しています³。

ベトナムの主要製造業

初期の市場評価では、企業が参入を予定している生産段階を特定する必要があります。ある国では、材料、部品、機械の国内サプライチェーンが完全でなくとも、大規模な最終組立が行われている場合があります。

エレクトロニクスおよび半導体

エレクトロニクス製造は、部品サプライヤー、精密金型、検査システム、生産支援企業にビジネスチャンスをもたらします。半導体分野においては、アセンブリ、パッケージング、テストを、チップ設計やウェハー製造とは別個に評価する必要があります。各活動には、資本、スキル、ユーティリティ、顧客認定に関して異なる要件があります。

サプライヤー候補にとって、現実的な出発点は具体的なプロセスと顧客の要件である。クリーンルーム設備、資材、エンジニアリングサービスについては、個々の顧客の既存生産拠点や認定手続きに照らして評価すべきである。B&Company によるベトナムの半導体バリューチェーンおよび日本企業にとってのビジネスチャンスに関する調査では、こうした違いについて詳しく分析している。詳細は[こちら](#)を参照のこと

ベトナムの半導体バリューチェーン

バリューチェーンの	ベトナムにおける位	主要プレイヤー	評価
-----------	-----------	---------	----

³ <https://b-company.jp/mapping-japanese-investment-in-vietnam-manufacturing-sector/>

段階	置づけ		
上流工程	IC 設計	Renesas, Marvell, Synopsys, FPT Semiconductor	成長中
中流	ウェーハ製造	N/A	低調
下流工程	OSAT	Intel, Amkor, Hana Micron	強い

出典：B&Company

機械・支援産業

関連産業は、他の製造業者が使用する部品、材料、および加工サービスを提供しています。その活動には、機械加工、金型製作、金属加工、産業用部品などが含まれます。その商業的価値は、再現性、技術力、および納期遵守能力に依存します。

最新の機械を保有するサプライヤーであっても、工程管理と安定した生産実績を実証する必要があります。この分野を評価する外国企業は、達成可能な公差、測定機器、材料の認証、および生産記録を精査すべきです。

B&Company によるベトナムの精密製造および関連産業に関する調査では、技術協力やサプライヤー育成を通じて能力のギャップをどのように解消できるかを検討しています。詳細については[こちら](#)をご覧ください。

ベトナムの精密製造企業の事例

No.	企業名	本社	出身国	主な精密製造分野
1	Misumi Vietnam	北部	日本	FA 用精密機械部品、プレス金型、プラスチック金型、ハイテク機械、測定機器
2	Aizaki Vietnam	南	日本	5 軸 CNC フライス加工、CNC 旋盤加工、研削、ワイヤ放電加工、高精度金属部品
3	Takako Vietnam	南	日本	油圧ピストンポンプ、モーター、および関連する精密部品
4	Yamaguchi Vietnam	北部	日本	CNC 精密加工、アルミニウムダイカスト、治具の設計・製造、表面処理、熱処理、および産業用測定・試験機器の取引
5	Yamazen Vietnam	南	日本	CNC 工作機械、マシニングセンター、研削盤、切削工具、測定工具、自動化装置、および精密加工に関する技術サポート

出典：B&Company のまとめ

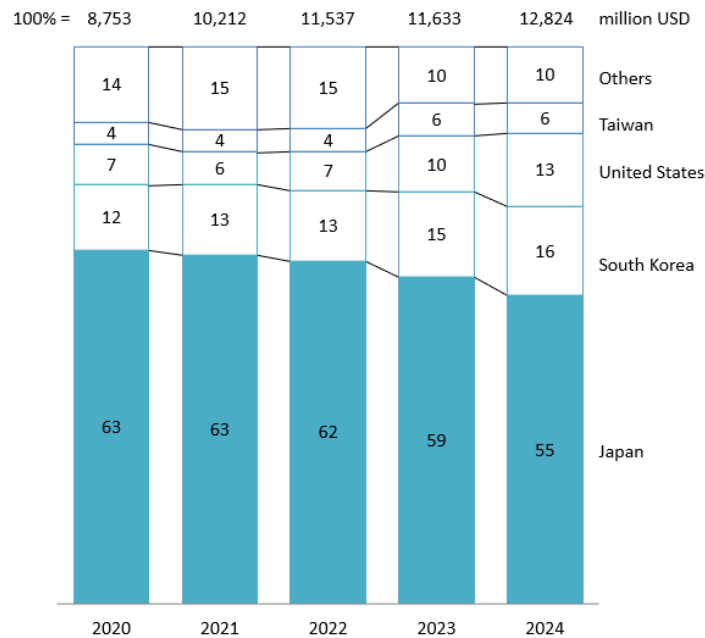
自動車製造および部品

自動車部品サプライヤーは、特定の組立メーカーや車両プログラムの要件を評価する必要があります。ある顧客の生産システムに適合する部品であっても、別の顧客にとっては異なる金型、試験、または文書化が必要となる場合があります。したがって、調達検討においては、見込需要を推定する前に、技術仕様、予想生産量、および顧客の承認プロセスを明確にしておく必要があります。

外資系生産拠点の概要については、B&Company によるベトナムの自動車メーカーに関する分析で、投資家の出身地別に企業数と売上高を比較しています。これは顧客グループを特定するための出発点となり、その後、企業レベルの調査へとつながります。詳細については[こちら](#)をご覧ください。

ベトナムの自動車分野における外資系メーカーの売上高

単位：％



出典：B&Company 企業データベース

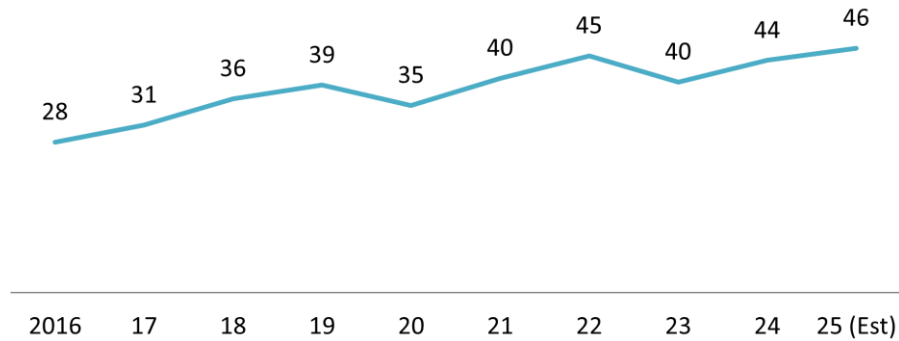
繊維・アパレル

ベトナムには確立されたアパレル生産拠点がありますが、調達体制には大きな違いがあります。買い手から供給された素材を使用して生産する工場もあれば、原材料の調達から完成品の納品までを一貫して担当する工場もあります。こうした違いは、運転資金、リードタイム、および買い手が輸入生地や付属品にさらされるリスクに影響を与えます。

評価では、原材料の調達、サンプルの承認、生産能力、検品を含め、注文の全工程を網羅する必要があります。当社のベトナムにおけるアパレル製造に関する分析では、サプライチェーンへの依存度、労働力に関する課題、および持続可能性への配慮について検証しています。詳細については[こちら](#)をご覧ください。

ベトナムの繊維・アパレル輸出額（2016年～2025年）

単位：10 億米ドル



出典：ベトナム国家統計局

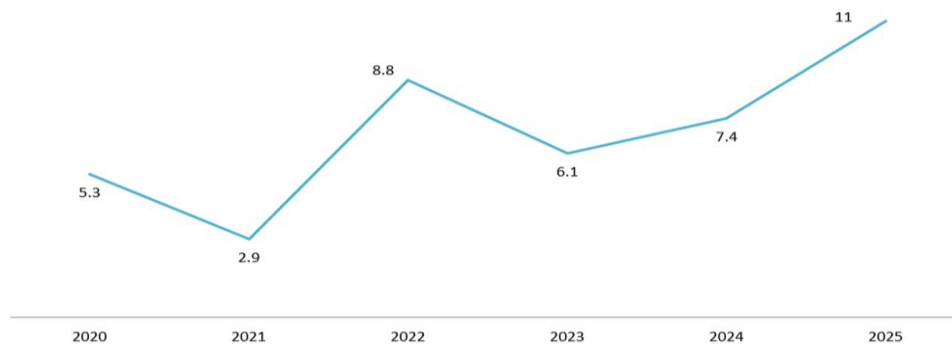
食品加工

食品生産は、製造業と農業供給、国内消費、地域への輸出を結びつけるものです。参入の潜在的なルートとしては、受託生産、原材料供給、加工設備、現地生産能力への投資などが挙げられます。

実現可能性の評価にあたっては、原材料の安定供給、食品安全要件、保存期間、流通条件から検討を始めるべきである。また、適切な工場は、対象とする販売市場や生産量にも適合していなければならない。B&Companyの「日本企業にとっての食品生産拠点としてのベトナム」という記事では、このセクターの概要と日本企業の参入事例を紹介している。詳細については[こちら](#)を参照のこと。

食品加工セクターの全体的な成長

単位：％



出典：ベトナム国家統計局

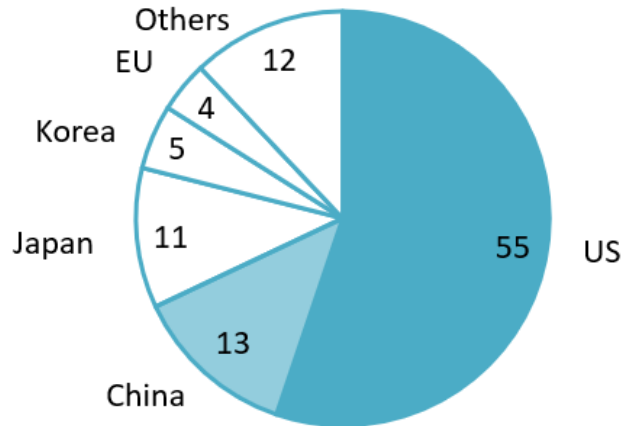
プラスチック、包装、木材製品

プラスチックおよび包装は、消費財、電子機器、建設、食品などの各分野のメーカーに供給されています。バイヤーにとっては、材料仕様、金型の所有状況、生産の安定性に細心の注意を払う必要があります。ベトナムのプラスチック産業に関する当社の分析では、市場動向と環境面での考慮事項について論じています。詳細については[こちら](#)をご覧ください。

木材加工および家具業界では、木材の調達、乾燥、仕上げ、寸法安定性、輸送時の保護など、異なるチェック項目が求められます。B&Company によるベトナムの木材バリューチェーンの分析では、原材料、加工、完成品の関係について解説しています。詳細[はこちら](#)をご覧ください。

ベトナムの木材および木製品輸出額（2024 年）

100% = 163 億米ドル



出典：VIFOREST

ベトナムにおける製造拠点の選定

立地選定は、顧客、生産要件、および調達材料から始めるべきです。地域間の比較は候補リストを絞り込む上で有用ですが、最終決定には個々の立地に関する実証データが必要です。

ベトナム北部のハノイ、バクニン、ハイフォンを結ぶ産業回廊は、電子機器、機械、および関連サプライヤーを検討している企業にとって関連性が高い。ホーチミン市やドンナイを含むベトナム南部は、南部の消費市場と結びついた確立された産業基盤を提供している。顧客への近接性、特定の工業団地、またはプロジェクトの物流要件がその選択を裏付ける場合、中部地域も検討に値する。

以下の確認事項は、地域ごとの候補リストを具体的な立地比較へと発展させるのに役立ちます。

決定要因	収集すべき情報
顧客およびサプライヤー	実際の移動時間、輸送ルート、配送頻度
労務および経営	採用対象地域、競合する雇用主、スキル、および人材維持コスト
公共インフラ	利用可能な電力容量、接続スケジュール、上下水道の整備状況
施設	利用可能面積、床荷重、拡張の選択肢、内装要件、および許可される活動
物流	港湾または空港へのアクセスルート、取扱手数料、混雑状況および代替案
プロジェクトのスケジュール	引き渡し条件、必要な承認、および現実的な試運転スケジュール

また、企業は工業用地の賃貸借と、完成済み工場の賃貸を区別する必要があります。土地の見積もりは賃貸期間を基準とする場合が多いのに対し、工場の賃貸料は多くの場合、面積あたりの月額で提示されるため、両者の金額を直接比較することはできません。B&Company によるベトナムの工業用不動産の概要では、物件、開発業者、市場状況に関する背景情報を提供しています。詳細については[こちらをご参照](#)ください。

ベトナムにおける製造コストの評価

有用なコスト比較としては、顧客に受け入れ可能な製品を納品するための費用を測定する方法があります。この計算には、月給や工場賃料に加え、生産性、原材料費、品質ロス、物流費などが算入されます。

原価計算モデルには、採用・研修費、人件費、光熱費、輸入原材料費、金型費、維持管理費、運賃、在庫資金調達費、および不良品のコストを含める必要があります。新規施設の場合は、内装工事費、試運転費用、および生産が目標効率に達するまでの期間のコストを追加します。候補地やサプライヤーについては、最新の見積もりを使用してください。

例えば、部品単価が安くても、リードタイムの長期化、追加の検査、あるいは不良率の上昇によって相殺される可能性があります。賃料が高い工場であっても、納期を短縮し、業務の混乱を軽減できるのであれば、商業的には望ましい選択肢となる場合があります。同じ仕様、発注量、品質要件、納期条件を用いてサプライヤーを比較し、その後、稼働率が低下した場合や運賃が高くなった場合に結果がどのように変化するか検証してください。

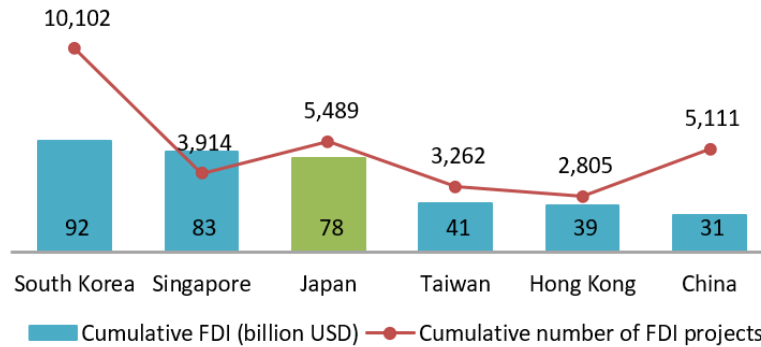
製造パートナーの選定と適格性評価

ベトナムのサプライヤー基盤には、ベトナム資本および外資系メーカーの両方が含まれます。バイヤーは、現地調達と、特にベトナム資本企業からの調達とを区別する必要があります。JETRO の 2025 年度調査によると、ベトナムで調査対象となった日本メーカーによる現地調達の割合は 38.1%でしたが、ベトナムに関する質問への回答者の 49.4%が現地調達の拡大を計画していました。同報告書では、入手可能な材料やサプライヤーの品質・技術力において、依然としてギャップが存在することが指摘されています。

技術的な調達要件書を作成することから検索を始めましょう。材料、図面の改訂版、公差、認証、年間調達量、初回発注数量、納期要件を明確に定義します。どの工程を自社内で実施し、どの工程を外部委託できるかを特定します。

設備、関連する生産経験、利用可能な生産能力について、候補企業を選定します。工場視察の際には、検査記録、トレーサビリティ、下請け業者の管理状況、および不適合品の取り扱い方法を精査してください。サンプルは、想定される生産速度で再現可能な工程であることを実証するものでなければなりません。

主要国別の累積外国直接投資額およびプロジェクト数（2024 年）



出典：ベトナム計画投資省（MPI）

その後、合意された受入基準に基づき、試験発注に移行すべきです。生産量を増やす前に、金型、欠陥、交換、納期変更、および文書化に関する責任を明確に記録してください。B&Company の「[ベトナムで信頼できるビジネスパートナーを見つけるためのガイド](#)」では、より広範な選定プロセスについて解説しています。当社の機械加工パートナー検索事例では、候補企業へのヒアリングや工場視察が評価にどのように役立つかを示しています。詳細については[こちら](#)をご覧ください。

ベトナムでの製造に関するよくある質問

企業はベトナムからどのような製品を調達できますか？

製造拠点には、電子機器、機械・部品、アパレル、加工食品、プラスチック、包装材、木製品などが含まれます。適性は、必要な工程、材料、生産規模、品質管理システムによって異なります。まずは製品仕様書を作成し、それに基づいて個々のサプライヤーを検証することから始めましょう。

ベトナムでは北部と南部、どちらがより良い立地でしょうか？

その答えは、顧客やサプライヤーのネットワーク、労働力の要件、輸送ルートによって異なります。同じ運営前提条件を用いて、個々の工業団地や工場を比較検討してください。地域ごとの選定基準については、実際の採用状況、公共インフラ、物流条件と照らし合わせて検証する必要があります。

外資系企業は工場を建設せずに事業を開始できますか？

企業は、既存のメーカーとの調達や委託生産を検討することができます。適切な商業的・法的取り決めは、商品の購入、生産、販売の方法によって異なります。パイロット注文を行うことで、買い手がより大規模な契約を検討する前に、品質や納期に関する実証データを得ることができます。

企業は製造サプライヤーをどのように選定すべきでしょうか？

技術的なスクリーニング、工場評価、およびパイロット注文を活用します。生産能力、トレーサビリティ、品質管理、および下請け工程に対する責任を確認してください。測定可能な受入基準に合意し、取引関係を拡大する前に納品実績を監視してください。

B&Company が貴社の製造計画をどのように支援できるか

B&Company は、企業がベトナムにおけるビジネスチャンス进行评估し、適切なパートナーを特定できるよう、[市場調査](#)および[ビジネスマッチングサービスを提供しています](#)。製造プロジェクトでは、業界調査、候補企業のスクリーニング、面談、およびクライアントの要件に合わせた工場視察を組み合わせることで実施します。

プロジェクトについてご相談の際は、製品やプロセス、ターゲット顧客、予想生産量、希望するスケジュールなどを[B&Company](#)にお知らせください。これらの詳細情報は、調査範囲やパートナー選定基準を定義するための基礎となります。